



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

病院だより

2018年3・4月  
第321号

病院だより第321号 (2018年3・4月号)  
発行者 昭和大学藤が丘病院  
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院  
発行責任者 藤が丘病院長 高橋 寛  
編集責任者 広報委員長 原田 浩史  
〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30  
Tel 045-971-1151



2018年4月 155名の新入職員を迎えました

## ==== 定年を迎えられた教授からの特別寄稿 ====

### 定年退職にあたって

磯山 恵一  
藤が丘病院 小児科

私は本年3月をもって定年退職いたしました。藤が丘病院開院3年目の昭和53年6月小児科に入局し、レジデントとして医師生活をスタートしました。小児科医になることが目的で、専門性などを考えたことはありませんでした。しかし、当時の小児科スタッフが小児血液疾患専門であったことから、血液疾患やがんの子ども達と接する機会が多く、勉強するようになりました。さい帯血などを用いた造血幹細胞移植や治療薬の進歩もあり、今では8-9割近くの子供達が元気になるようになってきました。最近、治癒した子ども達がいかに元気に社会生活を送れるかに焦点を当てた治療法が必要になっています。この時代に少しでも関わることができたことは大変ありがたいことだと感じています。



藤が丘病院小児科は小児血液がんのみでなく、様々な分野の知識を持った小児科医の専門集団です。この体制が、小児がん診療については藤が丘病院小児科診療の厚みと信頼に繋がっていると思っています。今後も、大学病院小児科としてより専門性を持った最

新の医療を提供するとともに、地域の総合小児科としての役割を果たして行けるよう微力ながらお手伝いをしていこうと思います。皆様には、これまでと変わらぬ御厚情を賜りますとともに、病院ならびに昭和大学の益々の発展を祈念いたします。

### 藤が丘病院を定年退職にするにあたって

田中 淳一  
藤が丘病院 消化器・一般外科

私は1978年東北大学を卒業し、直ぐに高橋俊雄教授の秋田大学第1外科に入局、1985年学位を取得、1988年からは後任の小山研二教授の紹介でクリーブランドクリニックに留学し、Prof. Noseのもと人工肝臓の基礎研究に従事しました。1991年帰国、秋田大学で腹腔鏡下手術を開始し、秋田日赤病院での腹腔鏡下大腸癌手術が、工藤進英先生との交流開始でした。



2001年3月横浜市北部病院に着任し、消化器センターの立ち上げから昭和大学にお世話になりました。数年で腹腔鏡下大腸手術件数は神奈川県トップ、全国ベストテン入りし、技術認定医を多数輩出しました。

2006年消化器センター教授に、2009年大連大学客員教授、2011年四川省瀘州医学院の客員教授となり、国内外での講演、腹腔鏡手術の指導にあたってまいりました。

2013年4月、藤が丘病院に異動し、これまでの活動を継続しながら若手外科医の教育と育成に力を注いでまいりました。秋田市での第4回RPS研究会やハワイの第33回環太平洋外科系学会PPSA-JCなどの主催を藤が丘病院消化器外科の医局員と一緒にできたのは幸いでした。

内視鏡外科の黎明期から25年間この領域の普及発展に邁進してまいりましたが、これも偏に大学、病院関係者など数多くの皆様にご協力ご支援をいただいた賜物であります。

以上、心から感謝を申し上げ、定年退職のご挨拶とさせていただきます。

## 事務部長就任のご挨拶

藤が丘病院・リハビリテーション病院  
事務部長 羽田 徳永

私は、沼尻前事務部長の後任として、本年4月1日付で藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院の事務部長を拝命いたしました。医療に携わる者にとっては委細承知のことと存じますが、高齢化の急激な進展や医療の高度化・専門化への関心が高まる一方で、病院運営を取り巻く環境は、想像以上のスピードで大きく変化しています。そのような状況下で、微力非才ではありますが、全力を挙げて職務に邁進する所存でありますので、皆様方のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。



大学事務組織規程改訂に伴い、4月1日より藤が丘病院事務組織が下記のように変更となりました。

【旧】		【新】
医事課	→	医療課
医療推進課	→	医療経営戦略課

## 診療科紹介 No.1

### 血液腫瘍から血液希少疾患まで広く対応

藤が丘病院 血液内科

血液内科は各種貧血、白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、凝固異常症などを対象疾患として診療しています。近隣でも対応できる医療機関が限られるため、外来診療などが混み合っており、いつも皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありません。ご要望にはなるべく応えられるように努めますので、何かありましたらお気軽にご連絡ください。

#### 診療体制

診療科長の原田浩史教授以下、川口助教(医科)、大学院生の藤原、島田の合計4名が外来および入院診療を担当しています。日本内科学会および日本血液学会の認定施設ですので、研修医に対する指導も行っています。



写真左より  
薬剤師 島本、原田教授、川口、藤原、島田

広く血液疾患全般を担当していますが、患者さんの多くは白血病やリンパ腫、骨髄腫と言った血液悪性腫瘍が主体です。最近ではリンパ腫や骨髄腫の分野で多くの新規薬剤が使われるようになりました。当科ではこれらを積極的に導入し、治療の成績が格段と伸びています。また、補助療法の改善もあり、これまでは入院でなければできなかった治療の多くが外来通院で実施可能にもなっています。私たちも入院期間を極力短縮し、通院治療が可能なものはできるだけ外来治療として、治療中の生活の質(QOL)の改善を目指しています。

#### 特徴的な治療領域

多くの血液悪性疾患に対して分子標的薬が開発されており、リンパ腫に対するリツキシマブやブレントキシマブ・ベドチン、骨髄腫に対するボルテゾミブや免疫調

整薬など多くの新規薬剤が標準的に使用できるようになり、良好な治療効果が得られています。

血液疾患では造血幹細胞移植が行われます。当科ではリンパ腫や骨髄腫で適応になる患者さんには自己末梢血幹細胞移植を積極的に実施しています。非血縁者あるいは血縁者からの移植(同種移植)は行っていませんが、関連の昭和大学病院の血液内科などに紹介して実施しています。

再生不良性貧血や特発性血小板減少症など血液希少疾患のほか、一部の先天性代謝疾患に対しても専門的な対応をしています。

(文責 : 原田 浩史)

## 公開講座が開催されました

平成 30 年 2 月 17 日(土)午後、藤が丘病院 C 棟講堂にて平成 29 年度第 2 回藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院公開講座が開催され、43 名の方が受講されました。今回は昭和大学公開講座のメインテーマ「暮らしと健康」より『寒さに負けず、生活の中での体づくり ―よりよく生きるために―』をテーマに、藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション科の川手信行准教授による「生活の中での体づくりとは? ―活動を大切に―」、藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンターの渡部喬之作業療法士による「身近な場での体づくり ―無意識に体力向上―」と、藤が丘病院看護部の萩原木染看護師による「寒さに負けず、免疫力を高める身体づくり ―しっかり食べられることの大切さ―」の 3 題の講演が行われました。

講演内容は、小学館が運営する大学公開講座の



情報検索サイト「まなナビ」(<https://mananavi.com/>)にて紹介されています。「まなナビ」とは「学びたい大人、子供や孫を学ばせたい大人のための情報サイト」と銘打たれた全国の大学で行われている市民向けの公開講座を検索できるサイトです。

(藤が丘病院管理課 高橋 良治)

## 絵画が寄贈されました

平成 30 年 2 月 20 日(火)、横浜ゆかりの画家である宮島永太良氏より、絵画「みんなの演奏会Ⅶ」が高橋病院長へ贈呈されました。この絵画は、横浜市と毎日新聞社が共同で開催している音楽イベント「クラシック・ヨコハマ」の一環である「生きる～2017 New Year 若い命を支えるコンサート」(平成 29 年 1 月 15 日開催)のために制作されたものです。同コンサートは毎日新聞社が長年取り組んでいる小児がん制圧キャンペーンの一環として開催されたものでもあり、「病気と闘う子どもたちに元気になってほしい」という願いが込められています。



贈られた絵画は、やわらかな色合いで動物たちが生き生きと表情豊かに描かれており、病気と闘う子供たちやそのご家族が元気づけられるような素敵な絵画です。藤が丘病院2階小児科外来前に展示させていただきますので、来院された際には是非ご覧いただければと思います。



(藤が丘病院管理課 横山 実佳)

## 初期臨床研修修了式が開催されました

平成30年3月23日(金)午前、昭和大学藤が丘病院B棟6階講堂にて、藤が丘病院初期臨床研修修了式が開催されました。昭和大学附属病院全体の修了式に加えて、藤が丘病院独自の修了式を開催しており、今年も各診療科の先生方にも研修修了者24名の門出を祝って頂くことができました。

修了式では高橋病院長のご祝辞、長坂研修コーディネーター委員長の乾杯のご発声に続き、市川研修管理委員長より修了者へ修了証と記念品が授与されました。修了者からは2年間の研修の思い出や4月からの抱負などのスピーチがあり、盛況のうちに閉会しました。



(藤が丘病院管理課 土屋 純子)

## 新入職員オリエンテーションを行いました

3月31日(土)、平成30年度昭和大学新入職員入職式が明治神宮会館で行われました。今年度は昭和大学全体で975人の新入職員を迎えることとなりました。藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院では、130名の新入職員と25名の初期臨床研修医の計155名のフレッシュなスタッフを迎えました。

入職式終了後、4月5日(木)まで各部署に分かれてオリエンテーションが行われました。4月6日(金)にはC棟講堂で全職種合同オリエンテーションが行われ、接遇・マナー、院内感染、医療安全・個人情報保護、医療ガスについての講習が行われました。その後、駅前駐車場屋上に移動し、青葉消防署の指導により防災訓練が行われました。



(藤が丘病院管理課 高橋 良治)

## 診療統計 2018年2月・3月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2018年2月	2018年3月	2018年2月	2018年3月
外来患者数	26,731人 (1,162.2人)	30,138人 (1,159.2人)	3,720人 (1,617人)	4,426人 (1,70.2人)
入院患者数	14,745人 (526.6人)	16,278人 (525.1人)	5,031人 (179.7人)	5,190人 (167.4人)
紹介率	79.5%	79.7%	65.6%	61.9%
逆紹介率	68.4%	63.7%	73.7%	78.3%

### 《広報委員会委員》

原田 浩史      池田 裕一      佐々木春明      市川 度      小岩 文彦      川手 信行  
 出川 美幸      角田 博子      佐藤 由紀      岩城 馨      長沼美代子      下田 遥菜  
 岡部 圭吾      大塚 凌      和田 洋一      (順不同)